



「隠れ大銀杏」と呼ばれるご神木。
鎌倉の歴史を見続けてきた銘木である。

鎌倉の大銀杏

20年前



1 私たちが生まれた1998年（平成10年）には既に鎌倉の鶴岡八幡宮の象徴であった大銀杏は2010年（平成22年）3月10日に強風で倒れてしまった。鎌倉市民にとってそれはとても悲しい出来事であった。

2 すぐさま再生への取り組みが始まった。4月1日には新芽がでたとの発表があった。その後、多くの新芽がでたが、これらの芽のほとんどはこの年限りだった。2011年には幹からも新芽がでたが、根の部分は厳しい状況であった。



現在



3 2014年には、根の部分からでた芽が成長を続け、大石段の朱色の柵よりも高くなった。現在は近くに移植された銀杏の木がすくすくと成長している。これからも昔のような鶴岡八幡宮の象徴として元気に育てほしい。

